

いい詩や
いい絵本は
心のあるじ(まご)
を善日にします



「ぼくがここに」
まど・みちお(詩) 定価1,650円(税込)

自然のなかにある木や草や花、虫や生き物たちはそれぞれ美しく生きているのに、人はなぜ争ったり一人占めしたり憎しみ合うのでしょうか。人が、足る、を知って優しい気持ちで生きることができたら地球は美しい樂園になります。童話というのは、真実のお話ということだとトルストイが書いています。こどもの本は、すべからず真実を語るものでなくてはなりません。子どもの心のあるじ(主人)が悪になったらどんなに不幸せでしょう。心のあるじが善になるには、人生の初めに出会う本が、いい本でなければいけません。

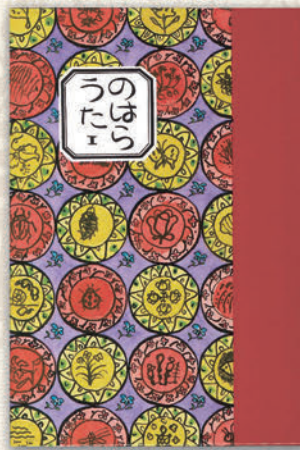


「すてきなひとりぼっち」
谷川俊太郎(詩) 定価1,650円(税込)

子どもの心のあるじを善にする



「いそがなくてもいいんだよ」
岸田裕子(詩) 定価1,870円(税込)



「のはらうた」
工藤直子(作) 定価1,650円(税込)

